

尾張旭市総合計画審議会第1部会 報告 (福祉・子育て)

1 開催日及び議事事項

(1) 第1回

① 開催日 令和5年7月6日(木) 10:00~11:30

② 議事

- ・基本目標1及びその施策に関する調査審議

(2) 第2回

① 開催日 令和5年7月27日(木) 10:00~11:20

② 議事

- ・基本目標2及びその施策に関する調査審議
- ・「めざすまちの未来像」「まちづくりの基本方針」に関する調査審議

(3) 第3回

① 開催日 令和5年8月23日(水) 10:00~11:30

② 議事

- ・部会のまとめについて

※ 各回での意見や提案内容は、別紙のとおりです。

2 部会総括

- ・当部会の審議範囲について、大きな修正点や疑義はなく、全体的に概ね適切であり了承できます。
- ・当部会では、市民ワークショップや各種アンケート等の意見や部会の中で委員から出された意見の中には、様々な尾張旭市の魅力があると思われるため、それらを記載していくべきという意見が出されました。このことから、総合計画書から尾張旭市の魅力を読み取れるような記載を検討してください。
- ・部会を通して委員から出された意見や提案に対して、市は、前向きに取り組んでください。
- ・冊子レイアウトを作成する際には、市民が読みやすいよう工夫してください。

総合計画審議会第1部会の意見や提案

1 基本構想（素案）について

- ワークショップやアンケートで出てきた尾張旭市の魅力に関することや、各委員から指摘のあったことを計画に反映できると良い。
- 子育てに関して、行政単独ではなく、森林公園等の環境を活かすなど何かと絡めた魅力を出していくことを検討してはどうか。

2 基本目標及び施策別指針について

(1) 施策1-1 健康づくりの推進

- 10年間を見据え、生成AIなどに関する記載も必要ではないか。
- 若い世代の望まない妊娠を心配している。そういった方に対する相談体制の充実も必要ではないか。
- 「現状と課題」の5つ目に「人材の育成や活動の活性化」とある。健康づくりに関する人材の育成を進めなければ、市民の健康に結びつかない。

(2) 施策1-2 地域医療・福祉医療の推進

- 他市と比較し、クリニックや地域の医療機関が充実していることは、尾張旭市の良さになるのではないかと思うので、もっと出していった良いのではないか。
- 指標が「陶生病院を利用した延市民数」となっているが、基準値に対して、目標は下げるものか、上げるものか分かりにくい。
- シニア世代を対象に様々な検診を実施しているが、一般的な検診のみに止め、希望者が自身で受診する形でも良いのではないか。
- 医療費や薬剤費を積極的に削減するというのは、健康という状況を作ることと削減することとなる。市民ができることとして、「安くする」という出し方より、施策1-1健康づくり事業の充実などで出した方が良い。
- 「市民・地域等の取組」に「ジェネリック医薬品を使い」とあるが、個人の価値観により選択するものではないか。

(3) 施策1-3 高齢者福祉の推進

- 「高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進」について、高齢者化により、市営バスを利用する方がたくさんいる。高齢者の移動支援は、生活全般を支えており、生きがいに関連するため、今後、重要になる。
- 「主な取組」に「介護施設などにおける介護ロボットやICTの活用を支援」とあるが、担い手が不足していくため、充実してほしい。

(4) 施策1-4 障がい者福祉の推進

- 「主な取組」の一つ目の意思決定の支援や、「市民・地域等の取組」として、後見制度等に関する記載を追加してはどうか。
- 障がい者の経済的自立はとても重要である。

- 「現状と課題」の3つ目に支援者を育成するための協力・支援とあるが、福祉の業界は人手が不足している。人材育成をしても就職につながらない状態。若い方などでボランティアをしたいという人はいるが、その活躍する場がないため、そういった方のバックアップができると良い。
- 指標1-4-4「会議などの開催回数」となっているが、どのような会議か分かるように記載した方が良い。
- 「市民・地域等の取組」で、「積極的に社会への参画を実施します」や「障がい者の地域交流の機会創出に取り組みます」とあり、素晴らしいことであるが、少しの段差やトイレなどハード面の問題がある。バリアフリー化等の環境の整備が必要ではないか。

(5) 施策1-5 地域共生社会の推進

- めざす姿「互いに支え合い」とあるが、個人情報の関係もあり、隣近所の状況が分からない中で、「支え合う」ことができるのか。まずは、向こう三軒両隣の方を知ることから始めていけると良い。
- めざす姿「互いに支え合い、誰もが安心した暮らしを送っています」を見て安心した。城山町三ツ池周辺は、老夫婦も増えてきており、今後移動販売などがあると良い。
- めざす姿が簡単に表現されているがめざす姿を自分事に捉えられる文言にするべきではないか。少しきれいすぎる印象がある。
- 生活保護の制度で、子どもなどに支援が行き届くよう一部現物支給としてはどうか。
- 「市民・地域等の取組」に「校区社会福祉推進協議会に加入し、地域福祉活動に参加」とあるが、若い人は全く加入しない。PTAを校区社会福祉推進協議会に入れている校区もあると聞くため、若い人の加入を後押ししてもらえると良い。
- 福祉は、市民が自分事として考えてもらうことが必要である。そのためには、教育の段階から教えていかなければ根付かない。学校で改めて教えなければいけないのではないか。
- 「市民・地域等の取組」に「地域全体で見守ります」とあるが、具体的な見守り方法の記載がないと難しいのではないか。

(6) 施策2-1 こどもの成長支援の充実

- 仕事の面接に行くと保育園に入ることが決まっているか聞かれ、保育園に入るには仕事が決まっていないといけないと聞くため、何とかしてほしい。
- 保育士について、人数の確保も必要だが、人材育成や保育士が安心して保育できる環境の整備が必要である。
- 保育関係で「安心に暮らせる」という安心感を出すため、情報周知や育児休業制度の普及など、基本目標1に関連する「母子関係の伴走型支援」の在り方等を追記してはどうか。

(7) 施策2-2 出産・子育て支援の充実

- 核家族の家庭にとって「子育て不安の解消」はとても心強い。短時間の子ども一時預かりを充実させてほしい。
- 「現状と課題」の2つ目に「核家族化の進展」とあるのを、P13の「核家族化の進行」と合わせるべきではないか。
- 「市民・地域等の取組」について、担い手がいるのか疑問に感じた。
- 市民や地域の取組に対して応える形で、行政がどのように協力するのか具体的に記載してはどうか。市民等に対し何をしてもらえるのかが分からない。そういったことが分かると活動したいと思っている人に想いが届くのではないか。
- 「市民・地域等の取組」について、参加しやすいものやハードルの低いものも含めて様々な形の参加を促してはどうか。

(8) 施策2-3 こどもが成長する環境の整備

- 児童クラブや民間学童クラブについて、費用負担の差を無くしてほしい。
- 比較的支援の対象とならない中間層の子育て世帯の税負担を軽減してほしい。
- 18歳まで医療費無料などの市がこれまで進めてきた取組を入れて、それらを充実させていくといったものを追加しても良いのではないか。
- ヤングケアラーへの取組としてスクールソーシャルワーカーが大切になるため、記載を追加してはどうか。
- ヤングケアラーという言葉が入るだけで重みが変わってくる。そういった家庭に介入することは難しく、今後どんどん増えてくることが予想される。地域共生社会の推進や障がい者福祉など全てが連携した支援が必要となる。
- ヤングケアラーの問題など、こども自身の悩みに対する相談体制を充実する必要がある。
- アンケート結果に「子育て」の言葉が出てくる。非常に大事な分野であるため、力を入れて取り組んでほしい。

(9) その他

- 「めざす姿」と「現状と課題」があり、それに対する「取組」の順にレイアウトしたほうが良い。
- 「現状と課題」に対応する「主な取組」の番号を記載した方が分かりやすい。
- 一般学級に発達等の障がいのある子がいる場合、1人の先生だけでは、授業が進まないため、補助の先生がいれば助かるのではないか。
- これからも市民の意見を聞きながらまちづくりを進めてほしい。
- 市民の取組やそれに対する支援をどうしていくのかを検討する必要がある。
- 各種団体の会員募集などの支援があると良い。
- 若い世代の地域活動への参加を促進できると良い。